



**教育実践専門職高度化専攻
教科領域指導プログラム
養護教育サブプログラム
大学院説明会2022**

養護教育サブプログラムの概要

児童生徒，教職員および学校の健康，安全に関わる諸問題を把握し，分析するための基礎理論を学ぶとともに，これらの課題解決を図るために必要なスキルを身に付けます。さらに学校内外との連携を進め，学校保健活動でリーダーシップをとることのできる高度な資質・能力をもつ**養護教諭の育成**を目指します。

養護教育サブプログラムの教員と専門領域 (令和5年度)

- 朝倉 隆司 健康社会学、精神保健、国際学校保健／健康への社会的・生態学的アプローチ
- 竹鼻 ゆかり 養護教育学／養護教諭の専門性を高めるための力量形成に関する研究
- 荒川 雅子 養護教育学、養護実践学／養護教諭の専門職としての成長に関する研究
- 鈴木 琴子 地域保健(看護)学、母子保健学／母子保健、子育て支援等に関する研究

なお大学院に入学すると、上記の教員から指導教員を決めることになります。

養護教育サブプログラムで開講している授業

プログラム科目(必修科目) 各2単位	履修学期
養護教育の内容と実践	1年春
養護教育の実践演習Ⅰ	1年秋
養護教育の実践演習Ⅱ	2年春

高度選択科目 各2単位	履修学期
学校保健の内容構成開発と実践A	1年秋
学校保健の内容構成開発と実践B	2年春
学校保健の高度研究開発法	1年秋

授業のほとんどはTTで行います

授業はすべて演習を含みます

高度選択科目は10単位以上習得する必要があります。養護教育SPの単位合計は6単位なので、不足分は他のプログラム、サブプログラムで選択することになります。

養護教育サブプログラムの教職専門実習

学卒院生：「**通年型**」の実習です。1年次9月に10日間、10月～12月は週1（火曜日）×10週で行います。2年次は4月～7月に週1（火曜日）×10週で行い、9月に6日間行います。

現職院生：教職経験5年以上で実習10単位から8単位が免除された場合、現任校や他校の視察、教育センターの訪問、学会参加などが単位の対象となります。

養護教育サブプログラムの2年間 (学卒院生を想定)

1年次

入学するとすぐに指導教員を決定し、教職基礎科目(6単位)、プログラム科目(養護教育の内容と実践)の他、他プログラム等の科目を必要に応じて受講します。また秋からの教職専門実習校へ訪問し、打ち合わせをします。なお教員採用試験未合格者はできるだけ1年次にも受験してください。秋学期からは教職専門実習を行うとともに、教職基礎科目(4単位)、プログラム科目、高度選択科目を受講します。また課題研究をスタートさせます。

2年次

引き続き、教職専門実習を行い、課題研究を進めます。教員採用試験未合格者は受験の準備をします。教職専門実習終了後は課題研究の完成を目指します。なお同時に専門学術論文を作成することもできますが、教職大学院の修了要件ではありません。(専門学術論文は学位論文ではありません)

養護教育サブプログラムの現在

2022年度現在，2年次2名，1年次3名が在籍
しています（学卒院生：4名，現職院生：1名）。

なお，養護教育SPの学卒院生は，他SPと同様に
教員採用試験教職大学院推薦の対象となる
ことができます。